

産業労働常任委員会資料

令和7年9月16日

# 中小企業の振興に関する施策の 実施状況報告（概要） 【令和6年度】

産業労働部  
地域経済課

## 目次

- 1 施策の実施状況 ..... 3
- 2 戦略の進捗状況（令和6年度） ..... 13



# 1 施策の実施状況

## (1) 報告の趣旨

中小企業の振興に関する条例（平成27年10月30日兵庫県条例第44号、以下「条例」という。）に基づき、ひょうご経済・雇用戦略（2023～2027年度、以下「戦略」という。）を条例第9条第1項にいう中小企業の振興に関する計画とし、施策の総合的な推進を図っている。

令和6年度における当該計画に基づく施策の実施状況を、戦略の体系に沿ってとりまとめ、条例第24条第1項に基づき議会に報告する。

### 【参考】 条例の構成（中小企業振興の施策）



## (2) ひょうご経済・雇用戦略

- 方向性 1** : 兵庫を牽引する新たな産業の創出 (重点プロジェクト1～3)
- 方向性 2** : 中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展 (重点プロジェクト4～6)
- 方向性 3** : 地域経済を支える人材の育成・確保 (重点プロジェクト7～9)

# 方向性 1 兵庫を牽引する新たな産業の創出

## 重点プロジェクト 1

## 成長産業の育成

### (1) 成長産業育成コンソーシアムの推進 [第14条]

次世代成長産業として期待される4分野（対象分野：ロボット・AI・IoT、航空・宇宙、環境・水素等新エネルギー、健康・医療）について、県内企業、大学・研究機関等で構成する分野別コンソーシアムにおいて、マッチングや助言等の取組を展開し、プロジェクトの具体化を支援



＜実績＞ 218社の企業が参加  
（ロボット等：54社、航空・宇宙：69社、環境・水素等：50社、健康・医療：45社）

### (2) 競争力強化に向けた開発支援 [第14条]

成長産業分野の事業拡大・新規参入を促進するため、産学官連携による本格的な研究開発への移行を目指す萌芽的な研究プロジェクトや、新製品の試作開発を支援



液化水素等を貯留するステンスタンの試作開発

＜実績＞ 7件採択  
（航空・宇宙：2件、環境・水素等：3件、健康・医療：2件）

### (3) 空飛ぶクルマ、水素分野の支援 [第14条]

空飛ぶクルマについて、事業者による事業開発を促進するため、県内フィールドを活用した実証事業等を支援。水素分野では、優れた技術・製品を有する県内企業の海外展開を新たに支援

＜実績＞ 空飛ぶクルマ 6件、水素 10件

### (4) 国際フロンティア産業メッセの開催 [第15条]

国内外の企業、研究機関等の先進的な技術・ビジネスに関する展示を通じて、新たな技術開発の提携や販路開拓を支援する「国際フロンティア産業メッセ2024」を開催

＜実績＞ 令和6年9月5日、6日開催  
出展規模528社／590小間  
来場者数約15,400人

### (5) 産業立地条例による産業立地の促進 [第14条]

「産業立地の促進による経済及び雇用の活性化に関する条例（令和5年4月改正）」に基づき、成長産業の集積等を図るための立地支援施策を実施

- 重点支援業種（成長産業5分野）の設定、同業種の補助率かさ上げ
- 中小企業の投資額要件緩和

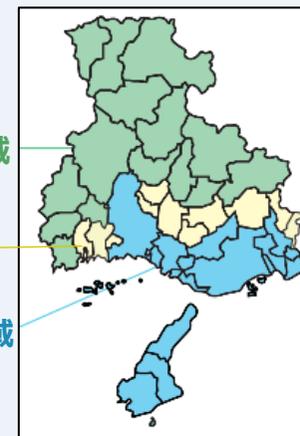
#### 設備補助率

地域	通常	重点支援業種	
			水素関連
多自然	5%	7%	10%
ベイエリア	5%	7%	10%
一般	3%	7%	10%

多自然地域

一般地域

ベイエリア地域



＜実績＞ 事業認定件数 61件（うち重点支援業種19件）

# 方向性 1 兵庫を牽引する新たな産業の創出

## 重点プロジェクト 2

## スタートアップエコシステムの形成

### (1) 「起業プラザひょうご」の運営

[第17条]

起業の場や交流機能を備えた「起業プラザひょうご」を運営し、起業・創業の機運醸成、起業家・スタートアップの成長を支援

姫路



尼崎



神戸



<実績> 会員数（令和7年3月末時点）  
神戸：179名、姫路：48名、尼崎：8名

### (2) オープンイノベーションの推進

[第17条]

既存企業・スタートアップ・大学・金融機関など、様々な主体の参画によりオープンイノベーションを推進し、共創による課題解決を支援

<実績> イベント 12回開催  
延べ689名参加



令和6年度 オープンイノベーションイベント

### (3) 多様な起業家への支援

[第17条]

多様な人材が活躍しやすい環境を整備するため、新たなビジネス創出に意欲的に取り組む者による起業と成長を支援。新たに「若者枠」創設により、30歳以下の起業・県内定着を支援

<実績> 計151件採択（うち若者枠：28件）

### (4) ひょうごTECHイノベーションプロジェクトの推進

[第17条]

県内外のスタートアップ等の技術を活用し、県内自治体の抱える社会課題・地域課題の解決を図る「ひょうごTECHイノベーションプロジェクト」では、1市町から提出される複合課題に対して、複数スタートアップが参画する複合枠を新設し、支援

<実績> 18件補助（単一枠 10課題、複合枠 3テーマ8課題）

【代表例】

地域	課題	取組事業者	取組内容
単一枠 高砂市	生活道路における自転車利用者の安全対策	(株)センサーズ・アンド・ワークス	センサーによる自動車接近のサインエッジ点灯で、交通ルール遵守意識の向上
複合枠 多可町	介護支援 専門員等の 業務効率の 向上	(株)BSN アイネット	AIを活用し、基本情報等を踏まえケアプラン(案)を作成することで、作業時間を短縮
		(株)ウエルモ	自動文字起こしと様式への自動反映により、介護支援専門員の記録作成時間を短縮
	訪問調査におけるルート構築支援	(株)ゼスト	AIを活用し、介護支援専門員の訪問スケジュール作成業務を短縮

# 方向性 1 兵庫を牽引する新たな産業の創出

## 重点プロジェクト 3

## 科学技術基盤を活用した技術革新支援

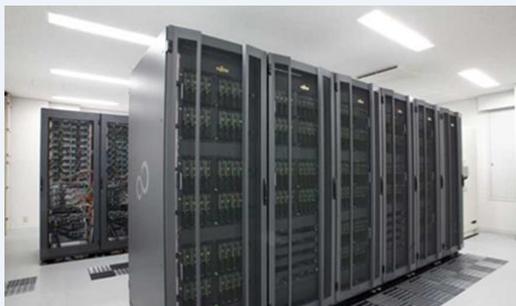
### (1) 計算科学を用いた技術高度化支援

[第14条]

スーパーコンピュータ「富岳」の立地メリットを活かし、高度計算科学研究支援センターを拠点として、(公財)計算科学振興財団が運営する「FOCUSスパコン」の提供による企業の技術高度化やシミュレーション技術の普及啓発等を神戸市と協調して支援

#### <実績>

FOCUSスパコンを利用した  
研究開発企業数 237法人



FOCUSスパコン



FOCUSスパコン利用講習会  
(FOCUSスパコン直結の端末を完備)

### (2) 放射光を用いた技術高度化支援

[第14条]

放射光の産業利用支援拠点である県放射光研究センターを通じ、県ビームラインを企業の研究開発用に利用提供するとともに、企業への放射光利用支援等を実施

#### <実績>

県ビームライン利用法人数 13法人



SPring-8・SACLA

### (3) 次世代電池・半導体の技術開発の促進

[第14条]

SPring-8、スーパーコンピュータ「富岳」等の科学技術基盤を活用し、電池・半導体分野での技術開発拠点の形成をめざし、協議会の設置やシンポジウムを開催

#### <実績>

開催日：令和7年1月20日開催  
場 所：ホテル日航姫路  
参加者：61名

**次世代電池・半導体  
シンポジウム**  
2025 1/20

脱炭素社会やデジタル社会の実現に向けて重要な蓄電池・半導体産業の将来展望や技術開発動向を各界のスペシャリストが徹底解説

講演 13:00 - 16:20  
交流会 16:20 - 17:20  
(受付 12:30 - )

参加無料  
【会場定員】先着 80名

**お申込み**  
申込期限：1月15日(水) 17時00分  
以下のURLよりお申し込みください  
<https://forms.office.com/r/aDNSEN1X18>

**会場・アクセス**  
ホテル日航姫路 3階 光琳  
〒670-0952 兵庫県姫路市用賀町100番  
JR姫路駅から徒歩1分、新中央改札口を出て南口正面  
駅ご乗場の場合は公共交通機関をご利用ください

**お問い合わせ先**  
公益財団法人 ひょうご科学技術協会  
TEL 078-362-3063 E-mail [symposium@hyokosta.jp](mailto:symposium@hyokosta.jp)

主催 | 兵庫県 共催 | (公財)ひょうご科学技術協会  
後援 | 兵庫県産業界 (国)科学技術振興機構 (国)科学技術振興センター 放射光科学研究センター  
兵庫県立大学 (公財)計算科学振興財団 (公財)新産業創造研究機構 (公社)関西経済連合会 (公社)兵庫工業会



シンポジウムの様子

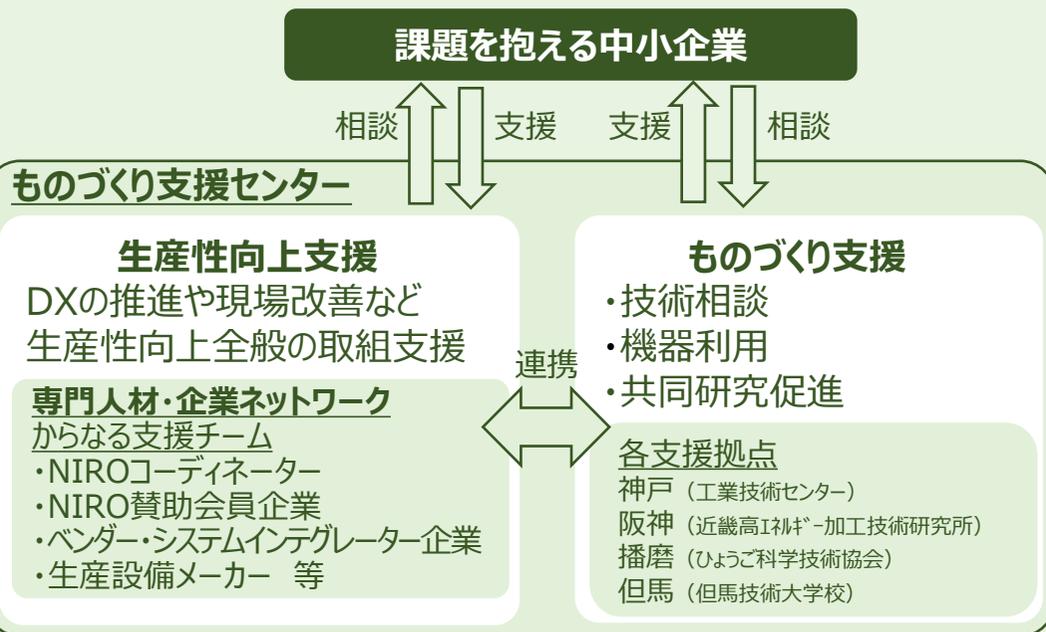
## 重点プロジェクト 4

## DX等による生産性の向上

### (1) ものづくり支援センターによる生産性向上支援

[第11条]

ものづくり支援センターの機能を拡充し、AI・IoT・ロボット導入や、工場の現場改善、生産・労務管理システムの導入の検討等、中小ものづくり企業の生産性向上に向けた取組み全般をチーム体制で支援。また、各支援拠点（神戸、阪神、播磨、但馬）の共同利用機器を活用した技術相談や共同研究を実施



#### <実績>

DX導入にかかる相談支援件数 437件  
 DX導入支援により実装に結びついた件数 21件  
 共同研究件数 29件

### (2) ものづくり企業におけるDXの実践と人材育成の推進

[第11条]

企業のDX実践と人材育成を支援するため、研修や普及啓発セミナーを開催したほか、生産性向上や業務課題の解決に向け、プッシュ型での専門家派遣による伴走支援を実施



IoT工場見学研修

#### <実績>

研修・セミナー実施件数 72件（194社、412名参加）  
 専門家派遣社数 20社



#### 【支援事例】

歯ブラシを5色20本まとめて箱詰めするシステムの自動化を支援  
 1台の専用機と2台の双腕ロボットの計5アームで箱詰め作業を行い、箱詰め作業員を6名から1名に削減

## 重点プロジェクト 5

## 経営の持続性向上

### (1) 相談・助言等による中小企業支援 [第11条]

ひょうご産業活性化センターを中核とした県内19の構成機関によるネットワーク「中小企業支援ネットひょうご」を構築し、ワンストップで企業のニーズに対応するとともに、成長期待企業の発掘・育成を推進

＜実績＞ 相談連携件数 1,024件

### (2) ひょうご産業SDGs宣言・認証事業の推進

[第11条]

ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業により、県内企業のSDGsの取組を支援。令和6年度は、SDGsに関する意識調査や取組度チェックを実施し、プッシュ型によりSDGs 経営の重要性について気づきの機会を提供



ひょうごSDGs宣言企業  
専用ロゴマーク

＜実績＞ 宣言企業数：4,052社  
認証企業数：362社  
(令和7年3月時点)

### (3) 中小企業融資制度等による支援 [第11条]

長引く物価高騰・円安や人手不足に加え、経済情勢の変化など先行き不透明要素もあることから、中小企業者の資金需要に柔軟に対応できるよう4,000億円の融資枠を確保し、資金繰りを支援

＜実績＞ 融資件数9,639件 融資金額146,472百万円

### (4) 中小企業の官公需確保対策の推進 [第16条]

官公需に係る予算の適正かつ効率的な執行に留意しつつ、可能な限り分離・分割した発注等により、中小企業の受注機会の確保を推進

＜実績＞ 中小企業への県発注率 85.2%

### (5) 事業承継の推進 [第18条]

中小企業のノウハウや技術を次世代に受け継ぎ、更なる地域活性化を図るため、後継者の事業承継時に要する経費を補助し、円滑な事業承継を支援

＜実績＞ 支援件数92件（新規43件、継続49件）

### (6) 中小企業者の災害時の事業継続支援 [第19条]

商工会・商工会議所と市町との協力による「事業継続力強化支援計画」の策定支援を通じて、災害発生時の事業継続対策として小規模事業者の「事業継続力強化計画」の策定を推進

＜実績＞ 計画認定団体数（商工会・商工会議所）44団体

### (7) 商店街の活性化支援 [第21条]

商店街に継続的な賑わいを創出するため、地域性・独自性のあるイベントや商店街活動に積極的に参加する若者や女性の空き店舗への新規出店などを支援



＜実績＞ イベント支援件数 80件  
出店支援件数 10件

商店街地域の特性を活かしたイベント

## 重点プロジェクト 6

## 地場産業の競争力強化

### (1) 産地のブランド力強化の促進

[第20条]

産地のブランド力強化を促進するため、産地組合が行う販路拡大、海外展開のための新商品開発、人材育成、首都圏での取組を支援



海外展示会出展事例（日本酒：フランス）

<実績> 補助件数 13件（12産地）

### (2) じばさん「ひょうご国」プロジェクトの推進

[第20条]

大阪・関西万博を訪れる外国人観光客をターゲットとした新商品開発など、産地組合・企業による海外販路拡大に向けた取組を支援する、じばさん「ひょうご国」プロジェクトを実施



百貨店での「ひょうご国」イベント

<実績> セミナー 1回開催  
 イベント 3回開催  
 （大丸神戸店、大丸京都店、東急プラザ銀座）

### (3) 地場産業におけるSDGsの取組の推進

[第20条]

世界共通の課題であるSDGsの取組支援を通じて、地場産品の魅力向上を図り、地場産業のブランド価値向上を推進

<実績> 補助件数  
 産地組合・・・15組合  
 産地企業・・・4社



算盤玉の木くず、線香の粉などを使用したマッチ型着火剤（燐寸）



廃業網を再利用した靴開発（ケミカルシューズ）

## 重点プロジェクト 7

## 人への投資の促進

### (1) 技能検定の普及と受検促進

[第12条]

兵庫県職業能力開発協会との連携のもと、技能検定を実施するとともに、若者の技能検定受検を促進するため、実技試験受検料の一部を減免するなど環境を整備

＜実績＞ 技能検定受験者数 10,954人

### (2) ものづくり体験事業の実施

[第12条]

ものづくりの魅力や奥深さを伝え、ものづくりへの関心を高めるとともに技能者の後継育成に繋げるため、ものづくり体験の機会と場を提供

＜実績＞ ものづくり体験講座 82回開催 665名参加  
ものづくり体験学習 72校参加 7,219名参加  
地域イベント 5回開催 173名参加



フラワー台製作（小学生）



テープカッター製作（中学生）

### (3) 職業能力の開発

[第12条]

5つの公共職業能力開発施設において離転職者、新規学卒者、障害者等の求職者への職業能力開発を実施したほか、専門学校等の民間教育訓練機関を活用し、介護・福祉、情報通信分野等の職業訓練を実施。その他、指導者不足や設備面から単独では訓練が困難な中小・零細企業のニーズを踏まえた在職者訓練を実施

#### ＜実績＞

【求職者向け】

公共職業能力開発施設

離転職者・学卒者 17コース 206名入校

障害者 9コース 82名入校

民間教育訓練機関等

離職者 159コース 1,823名入校

障害者 21コース 64名入校

【在職者向け】

一般 80コース 1,244名受講

障害者 1コース 12名受講



公共職業能力開発施設

## 重点プロジェクト 8

## 多様な人材の確保

## (1) 大学生の県内就職の促進

[第12条]

県内中小企業の人材確保を図るため、大学生等を対象としたインターンシップの実施や、就職活動前からライフプランを考慮したキャリアプランニングを支援するなど、県内就職を促進

＜実績＞ 大学生インターンシップ参加者数 104校 577名  
受入企業数 94社  
キャリアプランニング支援者数 93名

## (2) 理工系人材獲得の推進

[第12条]

県内外の理工系大学及び学生と、県内の製造業を営む中小企業とのマッチング機会の創出や、学生が製造・研究現場や産業見本市等を見学する機会を設けるなど、理工系人材の獲得に向け支援を展開



合同交流会

＜実績＞ 合同交流会及び製造・現場見学会参加者数 180名  
参加企業数 延べ48社

## (3) 奨学金返済支援制度の推進

[第12条]

兵庫型奨学金返済支援制度は、中小企業の人材確保と若者の県内就職・定着促進のため、令和6年度より対象年齢（30歳未満→40歳未満）、補助期間（5年→最大17年）を拡充し、支援を実施

＜実績＞ 申請者数 1,255名  
導入企業数 363社  
(令和7年3月時点)

## (4) 高校生の県内就職の促進

[第12条]

高校生のキャリア形成支援と若手人材の確保・定着を推進するため、高校生向けに加え、新たに進路指導担当教員向けキャリアセミナーを実施

＜実績＞ 高校生向け 21回開催 1,103名参加  
教員向け 7回開催 172名参加



高校生向けキャリア支援セミナー

## (5) デジタル技術を活用した雇用導入促進

[第12条]

デジタル技術を活用し、短期・短時間勤務を求める女性や退職後の高齢者等と企業のマッチングを、淡路地域をモデルに実施

＜実績＞ 掲載求人件数 7,939件、採用件数 2,454件  
登録求職者数 1,486人

## (6) 外国人留学生を対象とした人材確保策の展開

[第12条]

留学後も日本に滞在し就業を希望する外国人留学生を対象に、合同企業説明会を開催し、県内就職を支援した。また、理工系企業ブースを充実し、県内企業の人材確保を支援

＜実績＞ 合同企業説明会 710名参加

## 重点プロジェクト 9

## 誰もが生き生きと働ける環境づくり

### (1) 「ひょうご仕事と生活センター」の運営

[第13条]

ワーク・ライフ・バランスの全県的な推進拠点「ひょうご仕事と生活センター」及び地域拠点（阪神・姫路）において、普及啓発・情報発信、相談、研修に取り組み、多様で柔軟な働き方による働きやすい雇用就業環境を創出。また、県内企業のテレワークを促進するため、技術的な助言や導入費用の一部助成など支援



<実績> (令和7年3月末時点)

宣言企業数	3,995社
認定企業数	572社
表彰企業数	182社

### (2) 中小企業従業員福利厚生支援

[第13条]

中小企業の人材確保を支援するため、(公財)兵庫県勤労福祉協会が運営する中小企業従業員共済制度(ファミリーパック)において、健康分野の福利厚生メニューの補助等を実施

<実績> 補助人数(インフルエンザ予防接種料) 13,572人

### (3) 多様な働き方推進支援

[第13条]

中小企業における女性の高齢者等の職域拡大、育児・介護休業の取得や短時間勤務制度の利用推進を図るため、代替要員の賃金等の環境整備費用の一部助成など支援

<実績> 助成金

- ・育児・介護代替要員確保助成コース：100件
- ・働き方改革コース：33件



ワーク・ライフ・バランスフェスタ

## 2 戦略の進捗状況（令和6年度）

区分	重点プロジェクト	指標数	目標達成状況					達成比率		
			A	B	C	D	-	A	B以上	C以上
(1) 兵庫を牽引する 新たな産業の創出	①成長産業の育成	17	13		1	3		74%	82%	87%
	②スタートアップエコシステムの形成	16	11	1	1	1	2			
	③科学技術基盤を活用した技術革新支援	8	5	2		1				
(2) 中小企業の 経営基盤の強化・ 持続的な発展	④DX等による生産性の向上	6	6					76%	93%	97%
	⑤経営の持続性向上	23	14	5		1	3			
	⑥地場産業の競争力強化	3	2		1					
(3) 地域経済を支える 人材の育成・確保	⑦人への投資の推進	4	4					68%	82%	93%
	⑧多様な人材の確保	16	8	4	3		1			
	⑨誰もが生き生きと働ける環境づくり	12	7			2	3			
合 計		105	70	12	6	8	9	73%	85%	92%

※指標数には再掲指標を含む

※達成状況「-」は母数に含まない

### 【凡例】

- ・ KGI : 戦略ごとの重要目標達成指標
- ・ KPI : KGIを達成するための中間目標
- ・ 評価基準 : 評価は達成率によりABCDに区分

※特にD評価の指標については、今後の対応を検討

評価基準		評価
達成率100%以上	(目標を上回る)	A
達成率90%以上100%未満	(概ね目標どおり)	B
達成率70%以上90%未満	(目標を下回る)	C
達成率70%未満	(目標を大きく下回る)	D
現時点で評価不可	(未判明)	-

## 目標達成率がD評価（7割未満）の指標と対応

重点プロジェクト	指標	目標	実績	達成率	評価	要因	今後の対応
1 成長産業の育成	次世代電池・半導体シンポジウムの参加者数 ※再掲2箇所	150	61	40.7%	D	パネルディスカッション形式であることからオンライン併用ではなく現地開催のみとし、関係団体を通じた複数手法での広報に努めたが、平日日中開催で参加者が伸び悩んだため	次世代電池・半導体技術開発拠点推進協議会の意見（技術者の相互交流の促進や人材育成が必要等）を踏まえて、令和7年度より事業内容を見直し、シンポジウムに代わり新たな事業を開始
1 成長産業の育成	首都圏企業誘致セミナーの来場者数	100	0	0.0%	D	令和7年1月開催予定だった令和6年度のセミナー開催を見送ったため	本社が集中する首都圏においては、セミナーに限らず展示会出展等でも企業誘致PRを実施しており、今後は多数の来場者が見込め、費用対効果の高い展示会出展を中心にPR活動を実施
2 スタートアップエコシステム	県の支援による新事業創出件数	90	56	62.2%	D	地域ごとサポートセンター運営団体の変更があったことで広報・周知に時間を要したことや、都市部を中心に相談件数が減少したため	引き続き、事業の広報に努めるとともに、県内各センターのネットワーク化を推進し、好事例やノウハウの共有、センター間連携による新事業創出に向けた取り組みを展開
5 経営の持続性向上	ひょうご産業SDGs認証企業数（累計）	600	362	60.3%	D	全ての宣言企業が翌年度に認証を目指す前提で目標設定していたが、宣言よりも要件のハードルが高い認証に向けては、企業内で一定の準備期間が必要であること等が影響したため	認証増加のベースとなる宣言企業の増加に向け、経済団体との連携を強化するとともに、SDGs専用プラットフォームによる先進企業の取組発信等を通じて機運醸成を図る
9 人材の育成・確保	短時間しごと切出し支援件数	80	37	46.3%	D	求職者ニーズの高い事務系職種の開拓を優先的に実施したが、企業が切出せる仕事と合致しにくく実績が伴わなかったため	令和6年度に行った幅広い業種への企業訪問の結果から、切出しやすい日本語講師や電話受付の事務系職種を中心に開拓することで、目標達成を目指す
9 人材の育成・確保	HYOGOサポートデスク相談件数	850	200	23.5%	D	外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の開設（令和5年5月）により相談先が分散したため	周知活動の強化による新規相談の増加、既存の相談者へのフォローアップ、広報セミナーのオンライン併用開催による参加企業の増加等に取り組みつつ、今後の施策展開も踏まえながら効果的な指標設定について今後検討



兵庫県